

茨城県陶芸美術館 企画展

現代・陶芸現象

プレス・リリース

平成26年9月13日(土) - 11月24日(月・祝)



美しすぎ 気持ちわるすぎ 妖しすぎ (キャッチコピー)

茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

TEL 0296-70-0011 / FAX 0296-70-0012

<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

企画展

現代・陶芸現象

美しすぎ 気持ちわるすぎ 妖しすぎ(キャッチコピー)

2 開催趣旨

A：一言でいうと（74文字）

日本の現代陶芸の最先端、技術の高さと美しさだけにとどまらない表現の幅広さと魅力を、69名の作家144点の作品により余すところなく紹介します。

B：もう少しでいねいにいうと（312文字）

近年、日本の陶芸は、国際的な美術動向を反映しつつ、新たな表現を模索してきました。戦後間もなくオブジェが登場し、陶芸は次第に用途を離れた現代芸術の一分野としての表現を確立していきます。さらに1980年代以降になると、大型の作品が増え、陶芸ないし現代陶芸が指し示す範囲は極めて広いものとなり、現在では、全国の各産地を中心に陶芸ならではの技法と現代的アプローチを試みた様々な造形表現が生み出されています。

本展では、現在第一線で活躍し注目を集めている現代陶芸の新たな旗手たちに焦点をあて、現代陶芸の技術の高さと美しさだけにとどまらない表現の幅広さとその魅力を、69名の作家144点の作品により余すところなく紹介します。

C：詳細にいうと（501文字）

近年、日本の陶芸は、国際的な美術動向を反映しつつ、新たな表現を模索してきました。戦後間もなく走泥社に代表される革新的な美術団体が結成され、いわゆる前衛陶芸が登場し、陶芸は次第に用途を離れた現代芸術の一分野としての表現を確立していきます。さらに1980年代以降になると、大型の作品が増え、陶芸ないし現代陶芸が指し示す範囲は極めて広いものとなり、現在、全国の各産地を中心に陶芸ならではの技法と現代的アプローチを試みた様々な造形表現が生み出されています。

日本の「現代陶芸の現在」を見渡してみると、装飾過剰なもの、シンプルなもの、伝統をベースに創造性を加えていくもの、伝統的なオブジェの系譜につながる造形表現の新たな展開を示すものなど、様々な表現が見られます。そして陶芸の制作プロセスを踏まえ、新たなフォルムや装飾といった造形表現に大きく踏み込み活躍する多くの作家が、様々な地点から新たな「現代」を創出しています。

本展では、日本における現代陶芸の現在を「現象」として捉え、現代陶芸の技術の高さと美しさだけにとどまらない表現の幅広さとその魅力を、出品作家69名、作品総数144点により余すところなく紹介します。

3 展示構成

出品総数 144点

※会場の都合により、若干点数が変わることがございます。予めご了承下さい。

第Ⅰ章 器の展開（1.新しい感覚の器 2.伝統工芸の新風）

第Ⅱ章 オブジェの展開（1.過剰的装飾 2.立体造形の展開 3.フィギュア）

4 主な作品

〈かげを纏うかたち〉	猪倉高志	2011
〈彩刻磁鉢〉	石橋裕史	2010
〈茶埴〉	桑田卓郎	2009
〈Creature〉	今野朋子	2010
〈Nerikomi Porcelain 「clematis」〉	室伏英治	2014

5 会期・会場等

会 期：平成 26 年 9 月 13 日(土)～11 月 24 日(月・祝) (69 日間)

会 場：茨城県陶芸美術館 地階企画展示室, 第 2 展示室

開館時間：午前 9 時 30 分から午後 5 時まで (入館は午後 4 時 30 分まで)

休 館 日：月曜日 (ただし, 祝日の場合は開館, 翌平日休館)

6 主催・後援等

主催：茨城県陶芸美術館

後援：笠間市／朝日新聞水戸総局／茨城新聞社／NHK 水戸放送局／産経新聞社水戸支局／毎日新聞水戸支局／読売新聞水戸支局

7 観覧料

一般 720(570)円 高大生 510(410)円 小中生 260(210)円

* () 内は 20 名以上の団体料金。満 70 歳以上の方, 障害者手帳, 療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方 [ただし 1 人につき 1 人まで] は無料。土曜日は高校生以下無料。

8 関連催事 *詳細は後日, チラシやホームページ等にてお知らせします。

○出品作家と当館館長金子賢治による座談会

平成 26 年 9 月 20 日(土) 午後 1 時 30 分～ 当館 1 階多目的ホール(聴講無料)

小山耕一氏 浜岡満明氏 三輪華子氏 井口大輔氏

金子賢治 (当館館長)

定 員：120 名 (先着順・当日整理券を発行)

○特別展示 茶室 (Hanako's Teahouse2) 作：三輪華子

平成 26 年 9 月 20 日 (土), 21 日 (日)

場所：板谷波山 田端旧宅・工房 (再現) =ロケセット内

○人間国宝、巨匠のお茶碗でいただく呈茶会

平成 26 年 10 月 11 日 (土) 11:00～15:00 (10:00 受付開始)

呈茶券：500 円 (先着 75 名)

主催：茨城県陶芸美術館友の会

○出品作家によるアーティストトーク ※企画展チケットが必要です。

平成 26 年 9 月 20 日 (土) 10:30～ 飯沼耕市 澤田勇人

21 日 (日) 10:30～ 須藤訓史 大野佳典

○ギャラリートーク ※企画展チケットが必要です。

担当学芸員が展覧会をご案内。

平成 26 年 11 月 3 日 (月)・15 日 (土) 午前 10 時 30 分から

9 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 笠間市笠間 2345 番地 (笠間芸術の森公園内)

TEL.0296-70-0011 / FAX.0296-70-0012

展覧会担当 学芸課 柳田 高志 yanagida.takasi@post.ibk.ed.jp

広報担当 企画管理課 中島 淳 kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

掲載希望作品を広報担当：中島 e-mail:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp までご連絡ください
写真を掲載する際には、作品キャプションを併記してください。



画像①



画像②



画像③



画像④



画像⑤

作品やキャプション

※作品名、作家名、制作年の順

画像① 茶碗 桑田卓郎 2009

画像② 彩刻磁鉢 石橋裕史 2010

画像③ かげを纏うかたち 猪倉高志
2011

画像④ Creature 今野朋子 2010

画像⑤ Nerikomi Porcelain「clematis」
室伏英治 2014